

氏名	高崎 博司	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	運動器理学療法				
学位	博士(理学療法)				
学歴	2004年札幌医科大学理学療法学科、6年札幌医科大学大学院修士課程保健医療学研究科徒手療法専攻、13年クイーンズランド大学大学院博士課程				
経歴	2013年クイーンズランド大学博士研究員、14年埼玉県立大学理学療法学科講師				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本整形外科スポーツ医学会、日本徒手理学療法学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	ケースで学ぶ徒手理学療法クリニカルリーズニング	共著	文光堂	高崎博司、藤縄理	2017. 5
(2) 論文					
1	Measurement Reliability for Evaluating Lumbopelvic Curvature during Active Knee Extension in Sitting Using a Flexible Ruler in Individuals with Clinically Tight Hamstring Muscles: A Secondary Analysis	共著	Open Journal of Therapy and Rehabilitation、6、1-7	Takasaki H、Kikkawa K、Hall T	2018. 2
2	The effect of active knee extension in sitting on lumbopelvic curvature in individuals with clinically tight hamstring muscles: a cross-sectional reliability study	共著	Open Journal of Therapy and Rehabilitation、5、139-147	Yasuda M、Nishimoto K、Hori M、Noguchi T、Takasaki H	2018. 1
3	Mechanical Diagnosis and Therapy enhances attitude towards self-management in people with musculoskeletal disorders: a preliminary evidence with a before-after design	単著	SAGE Open Medicine、5、1-9	Takasaki H	2017. 11
4	Habitual pelvic posture and time spent sitting: Measurement test-retest reliability for the LUMObac device and preliminary evidence for slouched posture in individuals with low back pain	単著	SAGE Open Medicine、5、1-8	Takasaki H	2017. 9
5	腰痛に対する理学療法の現状と課題	共著	理学療法	隈元庸夫、高崎博司	2017. 9
6	Cross-cultural adaptation of the 12-item Örebro musculoskeletal screening questionnaire to Japanese (ÖMSQ-12-J), reliability and clinicians' impressions for practicality	共著	Journal of Physical Therapy Science、29 (8)、1409-1415	Takasaki H、Gabel CP	2017. 8
7	The impact of continuous use of lumbosacral orthoses on trunk motor performance: a systematic review with	共著	The Spine Journal、17 (6)、889-900	Takasaki H、Miki T	2017. 6
(3) 学会発表					
1	脊柱に関する筋骨格系理学療法	単著	第23回日本徒手理学療法学会、東京	○Takasaki H	2018. 3
2	Mechanical Diagnosis and Therapy Enhances Attitudes towards Self-management in People with Musculoskeletal Disorders	単著	World Confederation for Physical Therapy 2017、ケープタウン、南アフリカ共和国	○Takasaki H	2017. 7
3	徒手的理学療法と臨床研究：デザインから国際誌Publishまでのやり方	単著	第22回日本徒手理学療法学会、埼玉	○Takasaki H	2017. 3
(4) その他					
1	姿勢と骨盤	単著	高校保健ニュース、597号	高崎博司	2017. 6
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)	習慣的座位姿勢の改善がマッケンジー法による腰痛改善程度に与える影響の解明(研究責任者)			2015.4-2019.3

3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	身体機能運動学	2017. 4-8	運動学と神経生理学のつながりを説明した	
2	運動器障害治療学特論(大学院)	2017. 4-8	運動器理学療法の評価と治療を指導した	
3	生体力学応用分析学	2017. 10-11	力学的な理学療法評価治療を指導した	
(2) 演習				
1	理学療法セミナー(OSCE1)	2017. 8	理学療法評価の実践能力を評価した	
	理学療法セミナー(OSCE2)	2017. 4	理学療法評価の実践能力を評価した	
2	理学療法特別演習	2017. 10-2018. 3	統計学・研究法について国家試験の対策を行った	
3	リハビリテーション学演習(運動器障害治療学)(大学院)	2017. 10-2018. 3	高度な運動器理学療法の評価と治療を指導した	
(3) 実習				
1	運動学実習	2017. 4-8	運動学に関する実習を行った	
2	物理療法学実習	2017. 4-8	温熱・寒冷・光線療法の実習と徒手牽引や軟部組織モビライゼーションの指導をした	
3	ヒューマンケア体験実習	2017. 9	連携と統合を学ぶ実習のファシリテーターをした	
4	機能診断学実習	2017. 10-2018. 3	徒手スペシヤルテストの腰部下肢編の実技指導を行った	
5	臨床教育実習I	2018. 2-3	学生評価を行った	
6	臨床教育実習II	2017. 10-11	実習地訪問と学生評価を行った	
7	臨床教育実習III	2017. 4-6	副担任として実習中の対応をした	
8	臨床教育実習IV	2017. 6-8	副担任として実習中の対応をした	
(4) 論文指導				
1	学部卒業研究(16期生)	2016. 4-2018. 3	主指導:2名	
2	学部卒業研究(17期生)	2017. 4-	主指導:3名	
3	学部卒業研究(18期生)	2018. 4-	主指導:2名	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会等の講師				
	講演会、研究会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	平成29年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学	Mechanical Diagnosis and Therapyの紹介	2017. 9
2	第2回国際競技対策委員会 技術講習会	埼玉県理学療法士会	徒手療法の技術研修 & 英語でのコミュニケーション	2017. 6
3	マニュアルセラピー研究会 特別講演	マニュアルセラピー研究会	腰痛理学療法のパラダイムシフト	2017. 8
4	篠路整形外科 技術研修会	篠路整形外科	Sensori-motor control評価としてのFunctional Movement Screening test	2017. 8
5	九州整形外科スペシャリスト勉強会	KOS INSTITUTE	Patient Centered Approachの実践 ~Mechanical Diagnosis and Therapyを用いて~	2017. 10
6	青木中クリニック 技術研修会	青木中央クリニック	運動器理学療法の評価と実践	2017. 4-2018. 3
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	The McKenzie Institute International	MII Research Advisory Committee	2017. 1-	
2	埼玉県理学療法士会	国際競技対策委員会	2016. 10-	
3	専門リハビリテーション研究会	渉外部	2016. 4-	
4	日本理学療法士協会	ガイドライン作成グループ(頸部障害)	2017. 6-	
5	日本理学療法士協会	ガイドライン・用語策定委員会	2018. 3-	
6	日本徒手理学療法学会	理事	2017. 4-	
7	埼玉アスレチック研究会	理事	2017. 4-	
8	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2014. 4-	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			

5. 学内運営(委員会委員)			
1			
2			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		